

日本呼吸器外科学会 第26回一臨時理事会 ニュース

日時 2009年2月3日(火) 13:00~16:00

場所 日本呼吸器外科学会 事務局

出席者 (会長) 安元公正

(副会長) 近藤 丘

(理事) 大貫恭正 小川純一 金子公一 小泉 潔

児玉 憲 呉屋朝幸 白日高歩 千原幸司

馬場雅行 藤井義敬 吉村雅裕

(監事) 川原克信 和田洋巳

(前会長) 蘇原泰則

(幹事) 花桐武志

1. 第26回-第3回理事会議事録及び第26回-第3回理事会ニュースが確認された。
2. 議事録署名人に白日高歩及び馬場雅行理事が指名された。

議 事

1. 理事長制導入に伴う定款変更について(定款検討委員会近藤)

第26回第3回理事会で審議した原案について、司法書士と精査したことについて次のとおり報告があった。

主な事項は

- ・役員は理事と監事である(定義)。理事長、副理事長、会長、副会長は理事の中から選任すること。
- ・役員(理事・監事)の就任期間と理事長の就任期間(初代理事は就任日から役員の任期終了まで。)は同一であることが、定款上の取り扱いで定められていること。
- ・理事の交代時期(2年に1度)には理事長も交代し、新理事により新理事長の選出をすること。
- ・理事に立候補していない評議員が理事長候補者に理事会で推薦された場合の特例措置として特任理事を制度化したこと。特任理事の任期は1期のみで、理事として再任する場合は、現行(改正案も同様)の理事立候補届を行い評議員による選挙で選任されること。
- ・前回の理事会で、再任の場合は「連続3期までとする」の「連続」を削除したが、評議員であり且つ役員(理事・監事)で3期就任した場合、役員(理事・監事)及び理事長、会長、副会長になれないことになり、「連続」を条文に入れたこと。

の説明の後、定款変更案及び施行細則案について了承された。なお、関係機関と打合せの後、次回理事会(3月16日開催)で承認されれば、日本呼吸器外科学会ホームページに掲載し、評議員会で審議の後、第26回学術集會中に開催される第6回定時総会に諮る予定であるとの報告があり了承された。

2. 次期副会長選出について(安元)

第27回副会長立候補者が4名であり、定款に基づき単記無記名投票の結果、大分大学医学部総合外科学第2講座教授川原克信監事が選出された。

3. 理事選挙の経過について(馬場)

選挙人(評議員)名簿及び理事立候補届を送付し、1月15日立候補を締め切った。立候補者16名の理事立候補一覧及び投票用紙を評議員に送付、2月25日投票を締め切

り、2月27日開票を行う。理事決定後、監事選挙投票を3月25日に投票を締め切り、3月27日に開票を行うとの経過報告があった。

4. 呼吸器外科専門医合同委員会から

(1) 呼吸器外科専門医の新規認定及び更新認定について(和田)

- 1) 新規専門医申請者63名の書類審査の結果、61名が合格となり3名が不合格であり、資格試験に60名が受験した結果、45名が合格した旨報告があり了承された。
- 2) 更新専門医の該当者877名のうち更新専門医申請者569名の書類審査の結果、558名が合格した旨報告があり了承された。
- 3) 更新猶予申請者33名のうち、28名が猶予された。
- 4) 制度の問題として、個人情報保護の観点から手術記録の提出ができない施設が2施設あり、現地調査審査員を派遣した。うち、1施設は派遣に伴う旅費を出せないとのことで、専門医更新を保留にすることが諮られ、旅費の支払がない限り更新を保留することが決定された。

(2) 外科関連専門医制度委員会報告(近藤)

- 1) 専門医でなくなった者の処遇については、一定回数以上更新した専門医の名称を「名誉専門医」と統一する方向で各学会、団体で検討するとの報告があった。
- 2) 手術症例数データベースの構築に関し各学会から委員を一名推薦することになり、当学会から藤井義敬理事を委員に推薦することとなった。

(3) 修練施設の認定・更新申請と認定作業について(安元)

本件については2月20日必着にて書類申請受付中であり、3月15日に審査委員会を開催するとの報告があった。

5. 国際委員会及びCT 検診認定機構委員について(呉屋、安元)

(1) 国際委員会活動目標として

- ・STS(米国)、ESTS(欧州)との交流促進
- ・東南アジア地域との交流促進

などを素案とし同委員会のメンバーは、次回の理事会までに選出することの報告があった。

(2) 肺がんCT 検診認定機構(現CT 検診認定制度合同検討会)の委員に蘇原泰則前会長、佐川元保評議員が引き続き就任するとの報告があった。

6. 内視鏡外科学会との協議の進め方について(安元)

日本呼吸器外科学会では胸腔鏡手術は専門医教育の一環として位置づけているが、内視鏡外科学会の胸腔鏡手術手技認定については呼吸器外科胸腔鏡セミナーの講師を対象に進める方針で金子理事、小泉理事で内視鏡外科学会の担当委員と対応することで了承された。

7. 評議員資格審査委員会報告(大貫)

新規評議員の申請が60名あり書類審査の結果、58名合格した。更新評議員の申請が69名あり書類審査の結果全員合格したとの報告があり了承された。

8. 呼吸器外科研修及び交換研修のアンケートについて(小川、小泉)

(1) 心臓外科医の呼吸器外科研修についての基幹施設のアンケートでは概ね受入可能であり、この結果を日本胸部外科学会へ回答するとの報告があった。

(2) 開胸下肺葉切除術の交換研修について、基幹施設及び関連施設に対してアンケート調査を行った結果が報告され個別事項について引き続き検討することが報告された。また、食道外科医の心臓血管外科及び呼吸器外科研修についても受入れる方向で検

討することとなった。

9. 総会における学術委員会の関与について(藤井)

呼吸器外科セミナーとは別に2～3年のスパンで継続したテーマを2時間程度の学術委員会枠を設けて企画立案し講演することについての要望があり、次期会長と具体的に検討することとなった。

9. 第26回総会特別企画(総合医療安全管理委員会)について(小泉)

第26回日本呼吸器外科学会総会で開催する安全教育セミナー(特別企画)について、1日目は「医療安全を考える」2日目は「具体的な安全手術手技“手術合併症を最小限に”」を開催することが報告された。なお、今回の参加は医療安全の参加証を2回分発行することの報告があった。

10. 第26回日本呼吸器外科学会総会の準備状況(花桐)

第26回総会の招請講演、特別講演兼市民公開講座、シンポジウム、特別企画等々の進捗状況について報告があった。

11. 学会賞選考委員会報告(藤井)

順天堂大学鈴木健司先生及び産業医科大学竹之山光広先生の2名が第2回日本呼吸器外科学会賞受賞者として推薦され決定した。なお、賞金は総額を二分する旨報告があった。

また、論文賞を設置する事で学会賞の位置付け、性格を5回目をめどに明確化する方針の報告があった。

12. その他

(1)規則改訂委員会金子委員長より、推薦評議員の選考基準について現在検討中である旨報告があった。

(2)次回理事会開催について

第26回第4回は、2009年3月16日(月)午後1時から